



SHINOBI

ユーザーマニュアル

改訂第1版:2019年2月



**SHINOBIのユーザー登録を頂いたお客様には、
最新のアップデート情報をご提供致します。**

ユーザー登録を頂いたお客様には、最新のアップデート情報をご提供致します。

目次

保証内容

はじめに

1. 同梱品について

2. お客様にご用意いただくもの

HDMIケーブル

標準1/4インチマウント

3. Shinobiの電源

電源を起動するには/電源を切るには

4. Shinobiの接続

5. Shinobiの操作方法

ベストプラクティス

- 画面ロック

- ファームウェアの更新

モニターの設定アップ

メイン画面 - 情報バー

モニターモード/機能

- 映像入力

- オーディオ

- バッテリー

- 情報

モニター機能

波形モニターツール(WFM)の使用方法

RGBパレード / RGBオーバーレイ / ベクトルスコープ

ヒストグラム / RGBヒストグラム / アナライズ

モニターアシストツールの使用方法

フォーカスピーキング / ゼブラ / フォルスカラー

ブルーオンリー / ズーム / グリッドライン / セーフティガイド / ディスクイーズ

LUT

モニター

- 標準規格の使い方 - Native(ネイティブ) / Rec709 / HLG / PQ

- HDRとLogについて

ディスプレイ

6. 技術仕様

安全にご利用頂くために

1 Shinobiは安全性を配慮した設計をおこなっておりますが、下記の点に注意し
2 て頂くと、より安全で製品の寿命も長くお使いいただくことができます。

3

3

3

3

4

5

6

7

7

7

7

9

10

10

11

12

12

12

13

14

14

15

16

16

17

18

19

19

20

21

22

Shinobiを安全にお使い頂くために

Shinobiは同等の他製品と比べると非常に軽量ではありますが、固い物体であることには変わりはありません。誤った使い方をすると危害を及ぼす恐れがあります。

- Shinobiをご使用なさる際は、落下しないようにしっかり固定されているかご確認ください。特に小さい子供が近くにいる場合、必要に応じてケーブルを引っ張っても落下しないよう十分に固定してください。
- Shinobiに接続されているケーブルがはっきりと見え、引っ掛け転倒の恐れがない場所にあることを必ず確認してください。
- 平らでない場所や不安定な場所に置かないでください。
- Shinobiの液晶画面に、鋭利なものや金属製品、研磨剤の含まれたもので触れないでください。
- 強電界や強磁界にさらさないでください。
- 液体、雨、湿気にさらさないでください。
- Shinobiがご不要になった際は、一般ごみとして廃棄したり燃焼せず、安全に処分するため、必ずお住まいの地域の規制に従ってください。

HDMIケーブルについて

HDMIケーブルにはロック機構が備わっておりません。引っ張ったり、引っかかったりしますと、容易に接続が途切れてしまいますので取り扱いにはご注意ください。

ケーブルがしっかりと接続されていることを確認し、負荷がかからない適切な長さのケーブルをご使用いただくことをお勧め致します。

ユーザーマニュアルで使用されるマーク

極力わかりやすい説明を試みて、マニュアルでは使用するマークを2つに限定しました:

 初めての方に役立つヒントやご提案、注意事項を記載しています。

 重要な注意点や警告を示します。

保証内容(参考和訳)

インターナショナルハードウェア限定保証

ATOMOS保証とは:

- 使用説明書に従って正常にご利用頂いている状態で、万が一保証期間内に本製品が故障した場合には、本製品に付属の保証書を添付の上、弊社修理受付窓口、もしくはお買い上げ店までご持参いただければ、無償にて修理を致します。本体の修理以上の責任は負いかねますことをご了承願います。本体の保証期間は1年となります。

この保証は最初の購入者にのみ適用され、譲渡したものではありません。

保証期間内に正常にご利用頂いていて不具合が生じたときにはATOMOSは、次のいずれかの対応をさせていただきます。

- 製品交換もしくは、同等品の提供
- 製品修理
- 同等の製品交換費用の支払い
- 製品修理代の支払い

お客様は、製品に何らかの不具合が生じた場合、上記に定められている保証期間が満了する前にATOMOSに書面にて通知しなくてはなりません。該当の製品をATOMOSもしくは認定ディストリビューターに返送する場合は送料はお客様負担となります。ATOMOSが保証修理を承諾し製品の修理もしくは交換を実施する場合、製品をお客様へ返送する送料についてはATOMOSが負担致します。ただし、前提としてATOMOS認定のディストリビューター、修理センター、エージェントがある国にお客様がお住いの場合に限られます。

免責事項

保証期間内であっても次のいずれかに該当する場合、有償修理もしくは未修理返却となります:

- 事前の連絡がなかった場合。
- 不適切な使用方法や過失など自然故障以外である場合。
- ATOMOS認定修理業者以外で修理を行ったり試みた形跡がある場合。
- 製品を改ざんしたり改造をおこなった形跡がある場合。
- 互換製の無い機器や電源に接続したことによる破損の場合。
- 水滴や結露が原因である場合。
- 腐食性のある液体や磁場が起因する場合。
- 落下や衝突など物理的な衝撃が起因する場合。

ATOMOS、ATOMOSの販売店、代理店、再販業者、総代理店の保証範囲はAtomos製品の交換もしくは修理までとさせていただきます。記録していたデータや収録が中断したことなどによる賠償については一切責任を負いかねますことをご了承願います。

ATOMOSは製品がエラーが生じたり中断することなく動作することを保証しているわけではありません。プライマリとしてあるいは、データストレージドライブとしてのみ使用するためのものではありません。 - データのバックアップと保護についてはお客様ご自身の責任となります。

ソフトウェア使用許諾契約

ライセンス契約についての記載ですので、注意深くご一読願います。

Atomosソフトウェア、関連文章、すべてのサンプル画像ファイル(以下、「ソフトウェア」と略します)は、著作権に関する法律及び国際条約および、知的財産権に関する法律、条約により保護されています。本ソフトウェアは、その使用が認められるものであり、販売されるものではありません。

このエンドユーザー使用許諾契約は、本契約をもって提供される著作権で保護されたソフトウェアに関する、お客様(ご本人様もしくは一企業)とどのようなフォームやメディアであっても、ATOMOSから提供されたソフトウェアを使用することにより本諸条件を受諾したこととなります。ただし、ソフトウェア供給業者より別途諸条件が定められている場合にはこの限りではなく、特定の追加的又は異なる諸条件が適用されることがあります。ソフトウェアのインストール、コピー、その他の手段で使用した時点で、このエンドユーザー使用許諾契約に同意したものとみなします。エンドユーザー使用許諾契約の条件に同意頂けない場合には、ソフトウェアのライセンスを供与しません。

- ライセンスの対象者。このソフトウェアはATOMOS Shinobiを正規ルートでご購入頂いたお客様が購入したATOMOS Shinobiを使用する場合に限り、ライセンスの使用が認められます。複製したり、配布する権利は許可しません。
- ライセンスの承諾。ATOMOSはエンドユーザー使用許諾契約を保有したソフトウェアをコピーするために、ご所有のATOMOS Shinobiを使用する目的のみにソフトウェアをコピーし、それ以外の目的でソフトウェアをコピーしないことに同意します。ソフトウェアに付随する資料はコピーしないことに同意します。ソフトウェアを複製したり、転送したり、改ざんしたりすることは一部、全部を問わず禁止します。ソフトウェアはその使用が許諾されるものであり、販売されるものではありません。ソフトウェアの知的財産権はATOMOSおよびそのサプライヤーが保有し、お客様へ譲渡されません。ソフトウェアおよび付属の資料に含まれる、ロゴ、画像、アニメーション、動画、オーディオ、テキストなどのすべての知的財産権もATOMOSおよびそのサプライヤーが保有します。
- リバースエンジニアリング(プログラム解析)。ソフトウェアおよびAtomos Shinobiをお客様自身、あるいは他の人に依頼し、プログラムの解析や変更、分解を試みる行為は一切認められません。少しでも試みた場合、ライセンスの権利が無効となり、即座にATOMOSに権利が返還されます。

ATOMOSは利用契約に違反した場合に、お客様に対する損害賠償の権利を損なうことなくライセンスを無効にする権利を留保します。

お知らせ

著作権はATOMOS Global Pty Ltd (以後ATOMOSと表記します)がすべて保有します。本マニュアルの情報は予告無しに変更される場合があります。この文章に掲載されている内容は、ATOMOSの書面による明確な許可を得ることなく、いかなる手段であっても無断で複製・転記することを禁じます。

商標

ShinobiおよびATOMOSは、ATOMOSの登録商標です。また、Appleのロゴや形状、Mac及びMacintoshは、Apple Inc. の登録商標です。Final Cut Pro、QuickTimeとQuickTimeのロゴはApple Inc. の登録商標です。DNxHD、DNxHR及びAvid logolはAvid Technology, Incの登録商標です。他のすべての商標は、それぞれの所有者に帰属します。

ユーザー登録 + 保証

こちらからご登録下さい: www.atomos.com/register

ユーザー登録を頂いたお客様には、最新のアップデート情報をご提供致します。

はじめに

SHINOBI

5.2インチHDRモニター Atomos Shinobiをご購入下さりありがとうございます。ShinobiはポリカーボネートABS筐体で軽量化された高解像度モニターで、波形モニター、ベクトルスコープ、輝度、フォーカスアシストなど、プロダクションに必要な機能を網羅し、HDRモニタリングにも世界を先駆けて対応しました。

このユーザーマニュアルは撮影をサポートし、ポストプロダクションの作業を効率よくするためのShinobiに搭載されている素晴らしい機能を習得することができます。ユーザー登録をおこなって頂きますと、最新の情報とアプリケーションをご提供致します。

www.atomos.com/support



1. 同梱品について

Shinobiには、AC電源アダプターなど使い始めるための基本アクセサリが含まれています。加えて、お使いになる環境に合わせたHDMIケーブル(カメラと、Shinobiを接続)と、ATOMOS純正バッテリーが必要です。パワーキットやアクセサリキットなど別売のAtomXアクセサリもご利用頂けます。最新のアクセサリについては、AtomosのWEBサイトをご覧ください。

同梱物:

- Shinobi 1個
- AC電源アダプター 1個
- クイックスタートガイド 1部



2. お客様にご用意いただくもの

■ HDMIケーブル

適切なグレードのHDMIを使用し、断線や転送エラーが生じないように、コネクタを保護することを推奨します。信号の不具合はHDMIケーブルの断線や長さが長すぎることが起因するケースが多々あります。

Atomosでは、お客様のカメラとShinobiの接続に最適なプロ仕様のHDMIケーブルを幅広く取り揃えております。Atomos HDMI 2.0ケーブルのご利用を推奨します。



HDMI ケーブルはどれも同様に製造されているわけではなく、多種多様な品質で市販されているため、必ず、撮影前にご使用になるケーブルをテストするようにしてください。



また、カメラとShinobiがしっかりと接続され、データが途切れたりしないことをご確認ください。

■ 標準 1/4インチマウント/アーム

Shinobi には、1/4-20スクリューマウントが天面、底面にあります。Shape、SmallRig、Wooden Cameraなど、各社最新のマウンティングソリューションとも互換性があります。ご使用の機材環境に併せて、最適な取り付け方法でご利用頂けます。

一般的にカメラ&ビデオ専門店で購入可能なトライポッドとシューマウントの例です。



固定マウントは、HDMI、電源、リモート、オーディオ接続の操作性と安全性を大いに高めます。関連情報については10ページをご参照ください。

3. Shinobiの電源



AC電源
アダプター
(同梱品)



NP-F
バッテリー
(別売品)

電源の選択

Shinobilは、同梱のAC電源アダプター 又はATOMOSの純正バッテリーをご利用頂けます。すでにAtomos製品をお持ちの際は、そちらのATOMOS純正バッテリー(NP-Fシリーズ)もご利用頂けます。

バッテリーエリミネーター

ShinobilにはAC電源アダプターが同梱されています。Shinobiのバッテリースロットに装着すると、AC電源がご利用頂けます。

バッテリー

別売品のAtomos純正の NP-F 互換バッテリーや Atomos パワーキット でご利用頂くことを推奨します。新しいバッテリーを使用される際は、専用の充電器で完全に充電してからご利用ください。バッテリーを取り付ける際は、カチッと固定されるまでスロットに差し込み、取り外すにはラッチを押しながら引き抜きます。

 バッテリーを廃棄する際には必ず完全に放電させてください。端子が何らかのわずかでショートしてしまうのを避けるため、絶縁テープで覆ってください。

焼却処分は、リチウムイオン電池の取扱認可及び許可を受けているごみ処理施設で行う必要があります。廃棄予定のゴミ処理施設でリチウムイオン電池を

 取り扱えるかご確認の上廃棄願います。

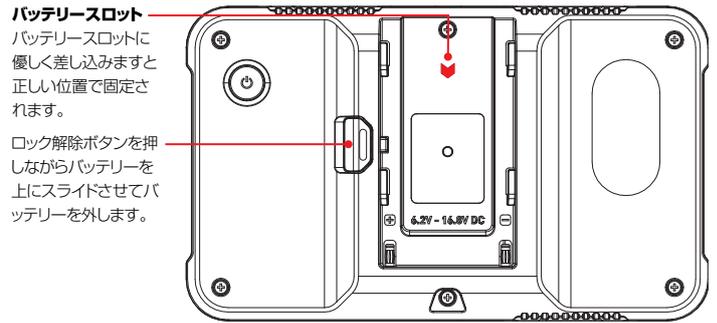
Atomos NP-F バッテリー充電器(別売品)

Atomos NP-F バッテリー充電器は急速充電を実現しつつ、軽量で持ち運びも重視して設計されています。

充電に不具合があるとき、一番目のLEDライトが赤く素早く点滅します。

 バッテリーの寿命を延ばすために、80%まで急速充電した後、残りの20%はゆっくりと充電されます。

 バッテリーの充電時間は均一ではなく、最初は急速に充電し、徐々にゆっくりと充電されます。充電時には、充電状況に応じてライトの位置が移動し赤色に点滅します。充電が90%に達すると、全てのライトが点滅します。この状態でご利用頂くのが最もバッテリーの寿命が延び、お勧めです。4つ全てのライトが点滅した後もバッテリーを充電し続けると細流充電モードに切り替わり、残りの10%が充電されます。細流充電が完了し、充電が100%に達すると全てのライトが点灯します。



目的に応じたバッテリーをお選びください

バッテリーの 駆動時間 (7.4V基準)	スタンバイモード	モニターモード
	2600mAh - 3hrs	2600mAh - 1.5hrs
5200mAh - 6hrs	5200mAh - 3hrs	
7800mAh - 12hrs	7800mAh - 6hrs	

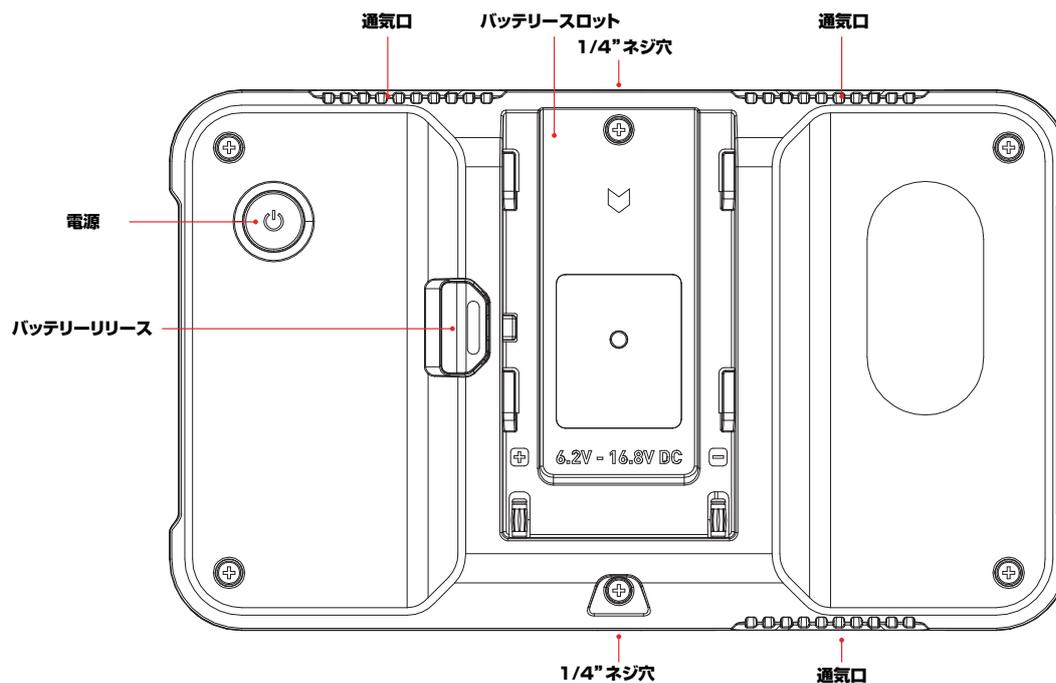
① Atomos NP-F シリーズバッテリーのご利用を推奨します。

DC to D-Tap コイルケーブル

別売のAtomosアクセサリ、DC to D-Tap コイルケーブルを使用し、外部バッテリーから電源供給を行うこともできます。ただ単に、D-Tapコネクタを電源に接続するだけです。その際、電源の出力が16.8V DCを超えないようにご注意ください。

 バッテリーとモジュラーアクセサリはデバイスの外側に付けて使用する為、落下防止の為、きつめにつくられています。ゆるみが生じないようにラッチをしっかりと固定してください。現場で素早くバッテリーの交換が行えるように、力加減を確かめておくことをお勧めします。

3. Shinobiの電源



Shinobiを起動するには

電源ボタンは本体の背面にあります。電源を入れるには、充電済みのバッテリーや付属のAC電源アダプターを装着した状態で、窪んだ丸いボタンを軽く押してください。数秒後、Atomosのロゴが現れ、Shinobiのホーム画面が表示します。

Shinobiの電源の切り方

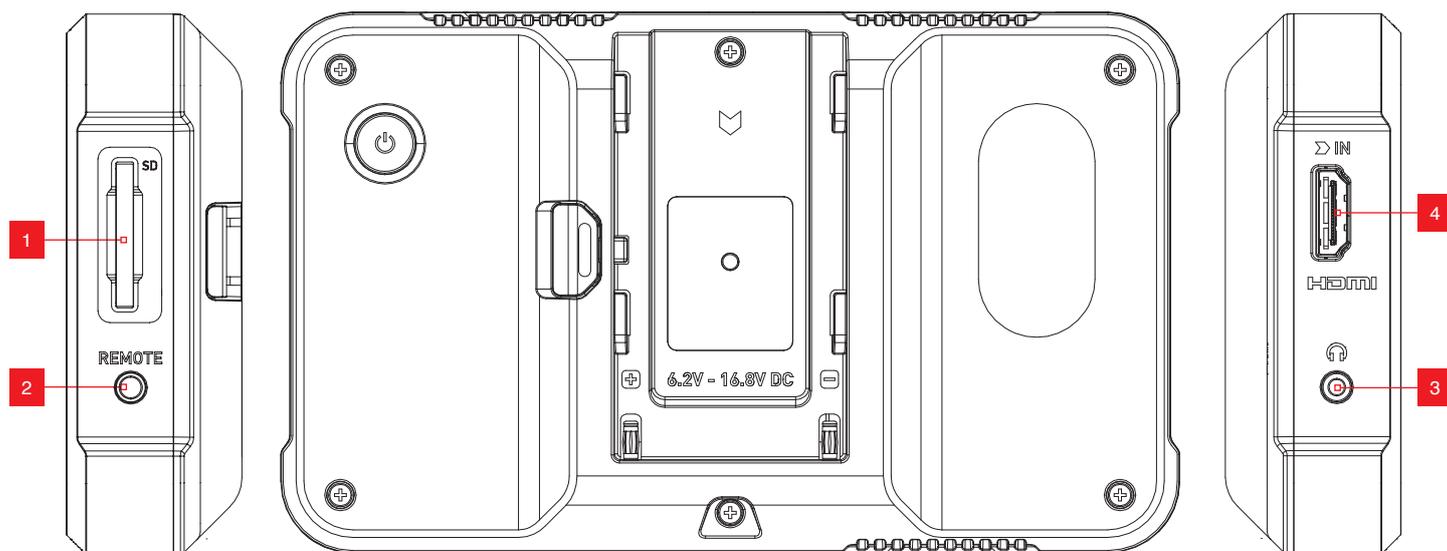
本体の電源を切るには、電源が落ちるまで、5秒間電源ボタンを長押ししてください。

❗ 5秒間は長く感じるかと思いますが、誤ってボタンに触れてShinobiの電源が切れてしまうことが無いように設計されています。

❗ Shinobiの電源を入れるとき、電源ボタンを長押ししないでください。長押ししますと、ファームウェアリカバリーモードで起動します。誤って長押ししてしまった場合には本体の電源を切るか、電源を取り外してください。

❗ 放熱を妨げないように、通気口をふさがらないでください。

4. Shinobiの接続



1. SD カードスロット

LUTを読み込んだり、ファームウェアのアップデートをするために、SDカードを使用します。

2. リモート/キャリブレーションポート

右側(正面からみて)のリモート 2.5mmジャックはATOMOS USB to Serial LANC ケーブルや、任意のコンピュータ機器を接続するときに使用します。X-Rite社のキャリブレーション機器 i1 Display ProをコンピュータにUSB接続し、Shinobiの画面に載せます。* ATOMOSキャリブレーションソフトでのみキャリブレーションを行うことができます。

Shinobi用のATOMOSキャリブレーションソフトウェアの最新バージョンは次のURLでご確認ください。 www.atomos.com/calibration

*適切にキャリブレーションを行うにはモニター画面を安定させる為に、キャリブレーション実施の30分前には電源を入れておくことをお勧めします。

3. ヘッドフォン/オーディオ出力

3.5mmヘッドフォンジャックはHDMIポートの下にあります。ヘッドフォンの視聴音量は、オーディオメーターをタップすると現れるオーディオコントロールメニューの画面で設定が行えます。オーディオメーターは、モニタリングモードでは画面の右上、ホーム画面モードでは右下にあります。

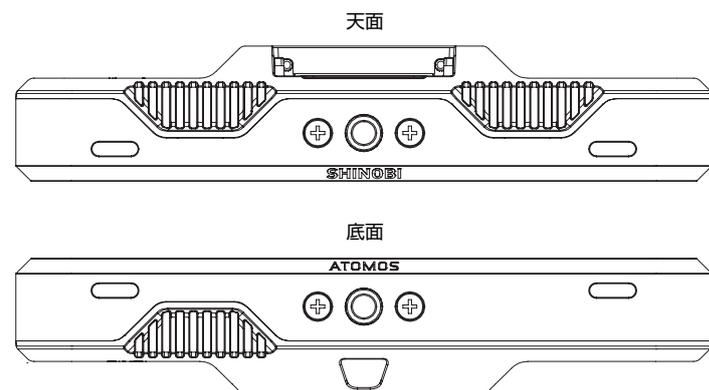
4. HDMI入力

映像はフルサイズのHDMI 1.4で接続します。カメラや機器がHDMI経由でエンベデッドオーディオも送っている場合には、そちらも取り込まれます。

エンベデッドオーディオ:ほとんどのミラーレスカメラやビデオカメラは、HDMI経由で2チャンネルの音声データを送信していますので、ヘッドフォン/オーディオ出力ジャックで音声データをモニターすることができます。

取り付けオプション

Shinobiの天面と底面にはカメラで一般的な1/4インチのネジ穴がありますので、ジンバルにしっかりと取り付けたり、様々な取付用のカメラアクセサリをご利用頂けます。



 ネジをきつく締めすぎますと破損の恐れがありますのでご注意ください。長さが5mm以上ある1/4インチネジを使用しないでください。無理に入れますと筐体を破損させる恐れがあります。

5. Shinobiの使用法 - ベストプラクティス

基本操作や機能を覚えますとご利用頂くときに時間が節約できます。Shinobiをお使いになる前に、役立つ簡単な手順をご確認ください

a. 画面ロック

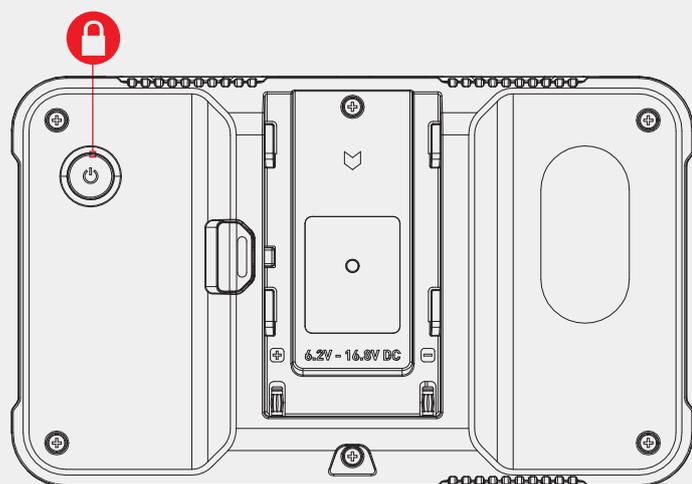
b. ファームウェアの更新

a. 画面ロック

ディスプレイ画面をロック

電源ボタンを押しますとShinobiの画面をロックすることができます。誤って画面に触れて設定が変わってしまうことを防止します。画面ロック機能は電源ボタンを押すことで、ロック、ロック解除が切り替わります。

ロックを解除したい時には、電源ボタンをもう一度押してください。



b. ファームウェアの更新 (AtomOS)

Shinobiのソフトウェア更新は、随時リリースします。ファームウェアの更新(Shinobi内のソフトウェア)を行うには、いくつかの簡単な手順があります。

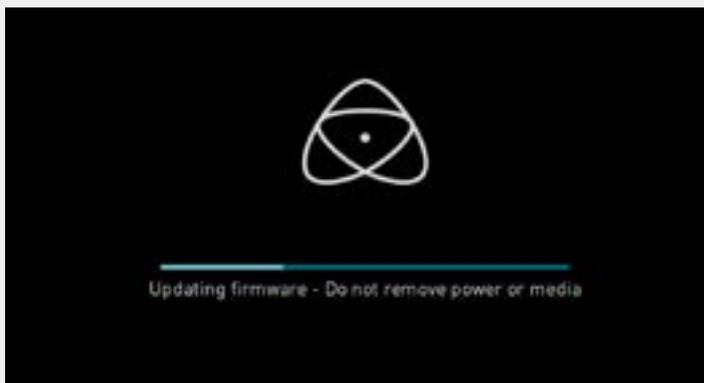
- inputインジケータをタップして、開かれた画面のInfoタブをタップしてInfo(情報)画面に切り替えます。Info画面にはご使用中のShinobiに関するファームウェアバージョンなど大切な情報が記載されています。Shinobiの最新ファームウェアが出ていないか、パソコンで確認します。

- パソコンから次のホームページを開きます。 <https://www.atomos.com/firmware>

- 『SELECT YOUR PRODUCT』ボタンを押して、『SHINOBI』を選択します。Shinobi Firmwareの新しいバージョンが見つかった時には、『DOWNLODE FIRMWARE UPDATE』ボタンを押してダウンロードします。



- ZIPで圧縮されたファームウェアを解凍し、ATOMSHBHF.binとATOMSHBHV.binを取り出します。
- SDカードに取り出したファイルをコピーします。
 - 使用するSDカードはFAT32でフォーマットしてからご利用頂くことをお勧めします。
 - ファームウェアの更新ファイルはフォルダーに入れずにそのままSDカードに入れてください。
- Shinobiにフル充電済みのバッテリーを取り付けるか、AC電源を接続します。ファームウェア更新中に電源が落ちることがないようにご注意ください。
- Shinobiの電源を入れます。
- ATOMSHBHF.bin、ATOMSHBHV.binを入れたSDカードをShinobiに装着します。
- Shinobiの電源ボタンを押して起動します。
- Shinobiの画面にAtomosのロゴが表示し、Please Wait (しばらくお待ちください)のメッセージが現れ、数秒後にファームウェアの更新が始まります。
- ファームウェアの更新中は、『updating firmware』の画面が表示されています。
- ファームウェアのアップデートが完了するまで数分間そのままお待ちください。
- ファームウェアの更新が終わりますと、Shinobiは再起動するように画面が表示されます。
- 電源ボタンを軽く押して、Shinobiの電源を入れます。



5. Shinobiの使用方法 - ベストプラクティス

12. Shinobiが起動しましたら、Infoタブのバージョンが更新されているかどうか確認してください。

重要:AtomOSインストール時の問題

ごく稀に、ファームウェアの更新が正常に機能しないことがあります。

その理由はファームウェアをダウンロード時、不完全な状態でファイルが破損していた可能性があります。万が一、フリーズしてしまう時のために、Shinobi内部にリカバリー機能が備わっています。

電源ボタンを10秒間長押しするだけで、Shinobiは工場出荷時の状態に復帰し、ファームウェアの更新が再度できるようになります。(不具合のあった問題を取り除くことができます)

 十分に充電したバッテリーを使用し、ファームウェアの更新中にShinobiの電源が切れることがないようにご注意ください。画面の下半分に進行状況を示すバーが表示されます。ファームウェアの更新が終了しましたら、Shinobiを再起動しますと通常通りお使い頂けます。ファームウェアの更新には最大5分かかります。

5. Shinobiの使用方法

モニタリングのセットアップ

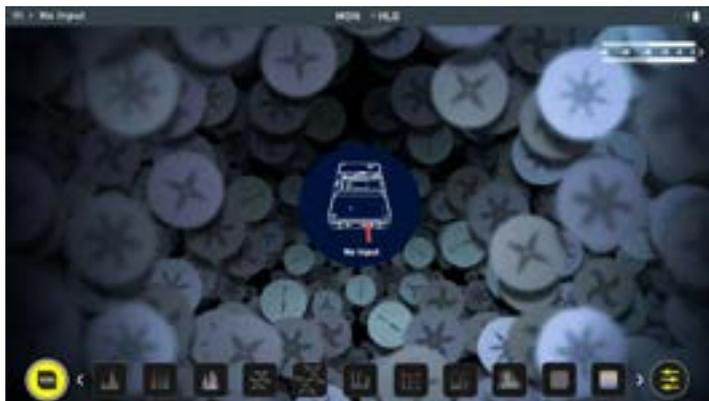
Shinobiが対応している映像入力信号が入りますと、次の現象がおこります:

- 入力ソースとフォーマットが情報バーの左上隅に表示されます。
- 画面に映像が表示します。
- オーディオ入力メーターが音源に反応します。

接続(モニター機能モード)



入力信号無



様々な機器を接続

ビデオカメラ

映像モニター:Shinobiを使用して、フォーカスピーキング、4:1/2:1/1:1ズーム、ゼブラ、フォルスカラー、ガイドフレーム、SMPTEセーフティエリア、波形、RGBパレード、ベクトルスコープなど幅広いツールを使用して映像をモニタリングすることができます。

HDR機能は各種カメラメーカーのLogカーブに対応し、仕上がり映像がポストプロダクションでどのようにみえるのかその場でプレビューすることができます。カスタムLUTを入れたSDカードを差し込み、選択したLUTをShinobiに取り込むことができます。

カメラ(デジタル一眼レフカメラ/ミラーレス)

ビデオモニターとして活用:ムービーモードの場合、幅広いツールを活用して映像をモニタリングすることができます。重要なモニタリングツールを搭載しています:

- フォーカスピーキング
- 4:1/2:1/1:1 ズーム
- ゼブラ
- フォルスカラー
- アナライズビュー (マルチツールビュー)
- ガイドフレーム
- SMPTE セーフティエリア
- 波形
- RGB パレード
- ベクトルスコープ

HDR機能はビデオカメラを使用している場合と同じように作動します。

フォトモニター:

Shinobiは5.2インチの明るいモニターを搭載し、幅広いツールを活用しながらロケ先で映像の詳細を確認することができます。2倍、4倍の拡大ツールを使用しフォーカスを容易に確認できますので、映像に集中することができます。サンフードとRec709の100%にキャリブレーションされた画面は理想的なフィールドモニターを実現しています。

スマートフォン

写真や映像モニターとして活用:スマートフォンとAtomos ShinobiをHDMIケーブルで接続するだけで、スマートフォンの映像を5.2インチの1000ニッチHDR画面でモニタリングすることができます。この組み合わせは動画ブログに最適なペアで、モバイルフォンフィルムメイキングや、スマートフォンで撮影した映像を再生する際にも最適です。

*推奨カメラ以外からの入力では相性などにより音声が入らなかったり映像が途切れる場合があります。

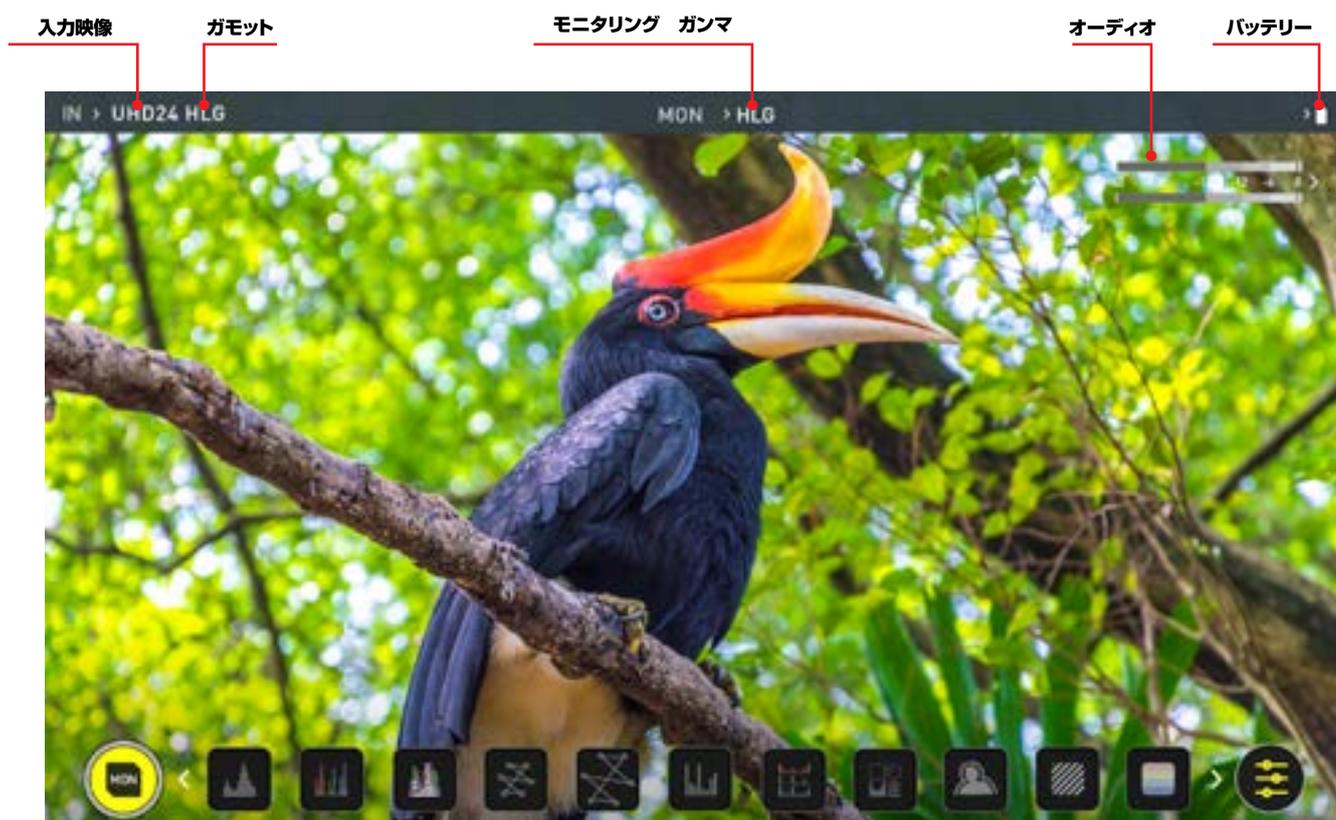
5. Shinobiの使用方法

メイン画面 - 情報バー

Shinobiの画面上部には情報バーがあります。情報バーでは、入力デバイス/カメラ、Shinobi、オーディオなど現在使用している設定を確認することができます。情報バーの項目をタップすると、関連したメニューが表示します。詳細については11ページをご覧ください。

情報バーに表示される内容は、入力機器の設定に依存します。Shinobiは、自動的に入ってきた信号を検出し、情報を表示します。設定を優先するには、情報をタップしてメニューに入り、情報設定を行います。

モニターモード / 機能



映像入力:

入力機器の解像度とフレームレートを表示します。

ガモットのモニタリング:

ソースデバイスからの映像に適用している現在のガモットを表示します。タップをしますと、カメラなどの入力機器から出力されている映像と設定が合っているか確認、調整することができます。

ガンマのモニタリング:

ソースデバイスに合わせて設定したガンマが表示されています。ソースデバイスと揃っていない時には、タップして変更することができます。

オーディオ:

オーディオメーター。タップをしますとオーディオメーターの設定メニューが開きます。

バッテリー:

タップをしますと電源メニューが開きます。バッテリーインジケータはバッテリーの残量に応じて減ってゆき、残量が少なくなりますと赤く点滅します。



モニター:

タップごとにモニター機能モード / ホーム画面モードで切り替わります。詳細は13ページをご覧ください。

5. Shinobiの使用方法

Input

映像入力

画面左上の入力ソースメニューをタップしますと、入力コントロールパネルが開きます。このパネルはShinobiに接続されているすべてのデバイスのコマンドセンターで、入力信号が有効か、対策が必要かなどご確認頂けます。

ソース

選択した入力ソースの現在の入力解像度とフレームレートが表示されます。

カメラ出力

最高の画像処理結果を得るには、Shinobiの設定をカメラ/入力の設定と合わせることが重要です。使用しているLog/HDR、カメラタイプ、ガンマ、ガモットを選択するか、HDMI HDR autoを有効にします。Shinobiは、互換性のあるHDMIケーブルで正しく接続しますと大半のカメラを認識します。

Log/HDR: Shinobi内部でHDR映像処理をするときに適用します。ポストプロダクションの管理を撮影時に行い、HDRで映像確認することができます。

Camera(カメラ): タップし、お使いのカメラメーカーを選択します。Sony、FujiFilm、Canon、Panasonic、ARRI、RED、JVC。

Logガンマ形式: 各カメラメーカーには数種類のLogカーブが用意されています。適切な表示になるまでGamma(ガンマ)アイコンをタップしてください。

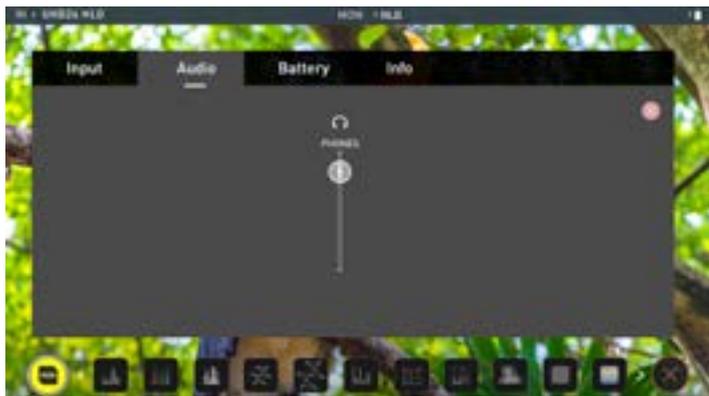
Gamut(ガモット): 入力のカラーガモットを選択してください。全てのカメラに適用されるものではありませんが、正確なモニタリングのためにカメラの入力と揃えてください。



Log/HDRについて

Log及びHDRに関する理解が高まるとワークフローが向上し、結果的に最大量の詳細が収録可能となり、ポストプロダクションの時間が節減されます。この機能の重要性に対する理解を深めるために20ページを参照してください。

5. Shinobiの使用方法



Audio

オーディオ

オーディオ設定はモニター画面に表示されているオーディオメーター(下図)をタップするだけでアクセスできます。メーターをタップすると、Audio(オーディオ)メニューに移動しヘッドフォンの出力調整が行えます。



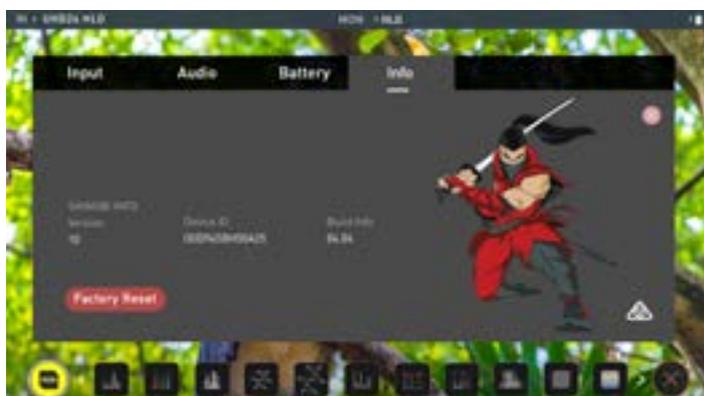
Battery

バッテリー

画面の右側にあるバッテリーアイコンは、装着しているバッテリーの残量を表示しています。

AC電源アダプターを使用している場合には、バッテリーのインジケータが満充電の緑色で表示されます。表示される電圧は入力ソースに依存します。バッテリーの駆動時間に関する詳細はShinobiのクイックスタートガイドを参照してください。

 バッテリーの残量が少なくなりますと画面にメッセージが表示します。残りが6.3VになりますとWarning(警告)メッセージが表示します。



Info

情報

Shinobiのソフトウェア(ファームウェア)バージョンと、個体識別番号(DID)を確認できます。AtomosのWEBサイトで最新のファームウェアの情報を確認することができます:

<https://www.atomos.com/firmware>

5. Shinobiの使用方法

メイン画面 - モニタリング機能

モニター画面の下側にあるMONアイコンをタップするとモニタリング機能に切り替わります。モニタリング機能がすべてが表示されているわけではありません。- 表示されていない機能は、アイコンを左にスワップしますと表示されます。アイコンは左右にスワップすると隠れていた機能がスクロールして表示します。

右下にあるのは設定ボタンです。設定ボタンをタップすると、モニタリングツールを調整することができます。

モニタリング機能



MON

モニタリング機能でご利用頂けるアイコン

左にスワップしますと隠れている機能が表示されます

設定



MON (モニター):

このアイコンを一回タップすると、ホーム画面表示に戻ります。モニター設定を行うには、設定ボタンをタップしてください。適用したモニタリング機能は再び解除するまで適用された状態を維持します。



設定:

モニタリング機能を設定したいときにタップします。ヒストグラム、ゼブラ、波形の透明度を調節したり、LUTやフォーカスピーキングなど設定が行えます。



輝度波形

映像のダイナミックレンジが視覚的にわかる優れた機能です。



RGBパレード

入力ソースの輝度情報を赤、緑、青に分けてそれぞれ表示します。



RGBオーバーレイ

入力ソースの輝度情報を赤、緑、青に分けて重ねて表示します。



ベクトルスコープ

映像の彩度の飽和を確認することができます。



ベクトルスコープズーム

ベクトルスコープの中心を8倍に拡大表示し、ホワイトバランスの設定を行うときに役立ちます。



ヒストグラム

画像全体の露出分布を視覚的に表示します。



RGBヒストグラム

映像の各色ごとの分布を視覚的に確認できます。



アナライズ

映像、波形、ヒストグラム、ベクトルスコープを同時に表示します。



フォーカスピーキング

フォーカス位置を合わせるときに使用します。



ゼブラパターン

設定した露出にゼブラパターンを表示し露出レベルを確認します。



フォールスカラー

映像全体を露出に応じた色で分けて視覚的に確認できます。



ブルーオンリー露出

映像のノイズを確認するときに使用します。



ズーム 1:1

ピクセル等倍まで瞬時に拡大表示します。4K撮影で重要なフォーカスを確認するときを使用します。



ズーム 2倍

ピクセル比2倍まで瞬時に拡大表示し、フォーカス確認が行えます。



ズーム 4倍

ピクセル比4倍まで瞬時に拡大表示し、フォーカス確認が行えます。



セーフエリア

アクションエリアとタイトルセーフエリアが表示されます。



シネマガイド

映画やTVのフレームガイドです。



アナモルフィックデスキューズ

アナモルフィックレンズを使用した時の映像を正しく表示します。

5. Shinobiの使用方法

波形モニターツール (WFM) の使用方法

輝度波形

輝度の波形は映像のダイナミックレンジを視覚化する優れた方法で、ハイライトとシャドウ両方の階調を保護できます。低コントラストのLogカーブで撮影する場合に特に便利でHDRと完全に連動しハイライトのクリッピングポイントを確認し、映像を適正露出に調整することができます。



RGBバレード

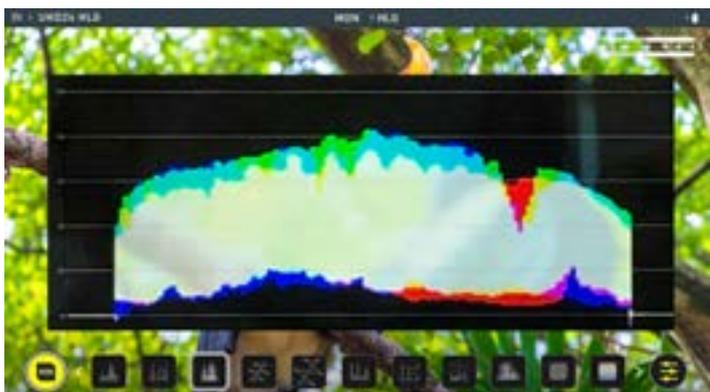
RGB波形は、入力ソースのR(赤)、G(緑)、B(青)の輝度レベルをそれぞれモニタリングします。RGBチャンネルは並んで表示し、波形の下には各チャンネルに対応した色が表示されます。この機能を使用して、ホワイトバランスを確認することができます。ホワイトバランスが正しく設定されていれば、カメラを白いものに向けると、赤、緑、青のレベルが一致します。

 オーバーレイ(重ね表示)を非表示にしても、波形モニターは画面に残り、画像を計測し続けます。MONボタンをタップすると、波形モニターは下方にあるアイコンの行に移動します。



RGBオーバーレイ

RGBオーバーレイは入力ソースのR(赤)、G(緑)、B(青)の輝度レベルを重ねてモニタリングします。



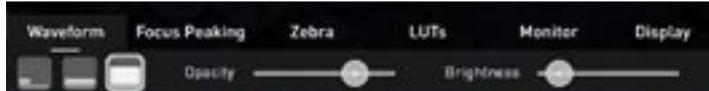
ベクトルスコープ

ベクトルスコープ画面では、色相(位相ベクトル)と彩度(中心からの距離で測定)を表示します。この機能は映像が飽和していないか確認を行ったり、マルチカメラ撮影時にショット間の一貫性を持たせるのに役立ちます。



ベクトルスコープズーム

ベクトルスコープズームはベクトルスコープの中心部分を8倍に拡大し表示します。



波形モニターの設定

波形モニターの設定は、設定アイコンをタップし、Waveform(波形)タブを選択してください。

waveformのアイコンをタップすると、波形のサイズが1/4、1/3、フルサイズに切り替わります。アイコンをタップすると、瞬時に波形のサイズが変更します。

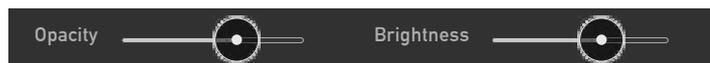


波形サイズの設定

 収録や再生時に波形モニターを表示しているとき、波形画面の左下隅をタップして、波形のサイズを1/4、1/3、フルサイズに切り替えられます。

波形表示の輝度や不透明度の調節を行うことができます。

5. Shinobiの使用方法



Brightness (輝度) スライダーで波形の強度を、opacity (不透明度) スライダーで、表示波形の透明度を調節します。この機能を使用してモニタリングしやすい設定に調節することができます。

ヒストグラム

ヒストグラムは入力ソースから赤、緑、青のレベルをモニタ表示します。RGBチャンネルが並んで表示され各チャンネルに応じた色が波形の下に表示されます。ホワイトバランスを確認することができます。カメラで白いものを映しますと、適切にホワイトバランスが整っていれば赤、緑、青のレベルが正しく一致します。



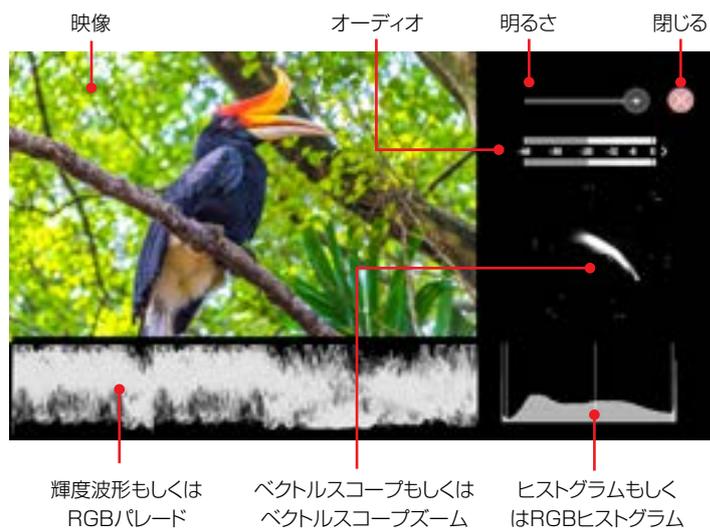
RGBヒストグラム

RGBヒストグラムは、赤、緑、青の入力レベルをモニターします。



アナライズ

アナライズ機能を使用すると、映像を表示しながら波形、ヒストグラム、ベクトルスコープを同時に確認できます。お好みに合わせて、タップすることに表示方法を切り替えることができます。RGBパレードとRGBオーバーレイを使用して波形モニターをタップします。ヒストグラムとRGBヒストグラムを目的に応じて切り替えたり、ホワイトバランスを正確に確認するために、ベクトルスコープ、ベクトルスコープズームを切り替えることができます。アナライズモードでは、被写体全体を表示しながら波形やベクトルスコープを表示し明るさを整えることができます。指先で瞬時に操作できます。



5. Shinobiの使用方法

モニターアシストツールの使用方法

AtomOS 10 には、適切に撮影するために便利なモニタリングツールを備えています。フォーカスピーキング、ゼブラ、フォルスカラー、ブルーオンリー機能を簡単に呼び出し、フォーカスのあった最適な露出のノイズがない映像を撮ることができます。セーフティエリアやタイトルエリア、アスペクト比のマーカー、アナモルフィックデスクイーズなどの機能もご利用頂けます。

フォーカスピーキング

収録中でもフォーカスピーキングを活用しフォーカスが合っていることを確認することができます。映像のフォーカスが合っている箇所には設定した色で縁取られて表示します。(設定から色を選ぶことができます。)画面に表示するピーキング設定を複数用意しており、カラーやモノクロの映像にピーキングを適用したり、ピーキング位置だけ表示することができます。

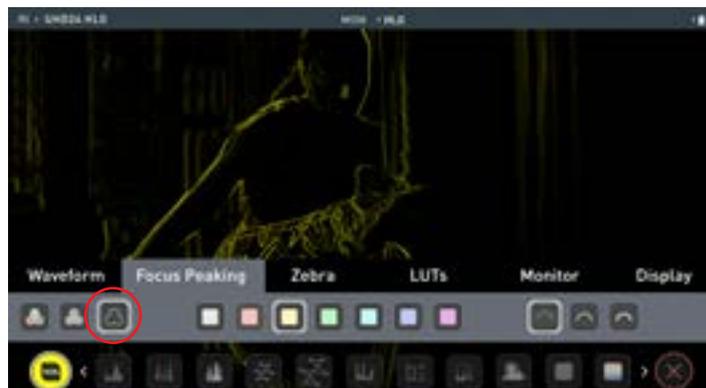
フォーカスピーキング カラー



フォーカスピーキング モノクロ



フォーカスピーキング アウトライン



Focus peaking(フォーカスピーキング)メニューのアイコンをタップし、ピーキングの色やモードを変更することができます。



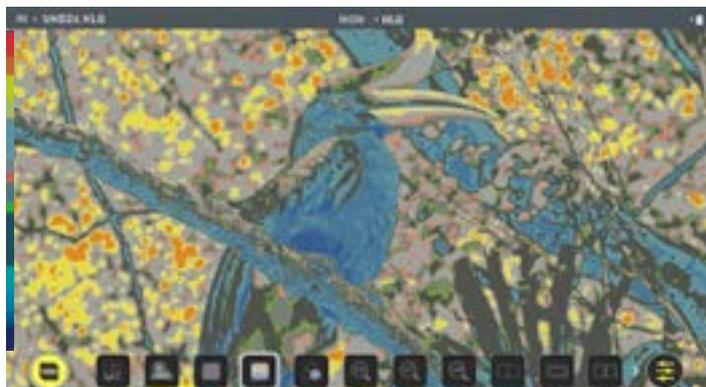
ゼブラ しきい値

ゼブラパターンは、ターゲット設定した数値の+5%の露出箇所に斜線で表示します。ゼブラのしきい値はスライダーを左右に動かし調節します。



フォルスカラー

フォルスカラーは、映像内の露出に応じて異なる色を割り当てます。この機能を使用して映像全体の露出状況を視覚化することができます。画面の左側にスケールがあり、オーバー露出は赤、アンダー露出は青で表示されます。



5. Shinobiの使用方法

フォルスカラースケール

正確に露出範囲を決めるために、画面の左側にあるスケールを活用ください。



ブルーオンリー露出

ブルーオンリーでは、入力信号の青チャネルだけをモノクロで表示します。撮像センサーのノイズは最も暗い青で識別しやすくなるため、ノイズ具合を確認するときに活用します。



ズーム

ズームモードは瞬時に拡大しフォーカスチェックを行うことができます。

-  1:1トグル: モニターとピクセル比を1:1で表示します。インジケータボックスには現在表示されている画面の範囲が表示されます。
 - 4K映像を1:1で表示しますと、4K UHD映像の1/4が拡大して表示されます。
-  2:1トグルは、画面と映像のピクセル比を2:1で表示します。インジケータボックスでは現在の表示範囲が表示されています。画面上をスワップするか、インジケータボックスを動かしますと、拡大エリアが移動します。
 - 4K映像を2:1で表示しますと、4K UHD映像の1/16のエリアが拡大表示されます。
-  4x zoom icon



シネマガイド / セーフティエリア / アナモルフィックデスクイーズ

AtomOS 10には高度なガイドフレームとセーフティエリアが用意されています。ガイドアイコンをタップするとシネマやテレビ用のガイドフレームが表示されます。アクションセーフティエリアやタイトルエリアを有効にしますと、SMPTE規格に基づいたガイドフレームの比率で確認できます。



シネマガイド



セーフティエリア



アナモルフィックデスクイーズ

ガイドを表示するには、シネマガイドアイコンをタップして、希望の比率に変更します。アスペクト比マーカークのアナモルフィックデスクイーズ2倍は非常に便利です。セーフティエリアマーカークを適用するには、アクションエリアとタイトルエリアを1回タップします。

シネマガイド



 画面の中央をタップしてオーバーレイを非表示にしても、セーフティエリア/グリッドラインはそのまま表示されます。

セーフティガイド



デスクイーズ2倍



5. Shinobiの使用方法

LUT

ルックアップテーブル(LUT)は、カラーレスポンスを変換するテーブルで、文字通り、入力映像の“見た目(Look)”を調節します。3D LUTは、R(赤)、G(緑)、B(青)の3つの値が組み合わさって定義され、色、ガンマ、ガモットを調整します。カメラとのマッチングやフィルムストックのエミュレートなど特定のルックアップテーブルでLUTを作成し使用することができます。

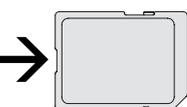


Atomosは、業界標準の .CUBE フォーマットの3D LUTに対応し、メモリースロットに8つのLUTを登録できます。

全てのLUTが同じでは価値がなくなりますし、多数のLUTがREC.709の色域内で適用されるようにつくられています。つまり、色調整にLUTを適用したいと思っても、表示しているLUTは映像の輝度にも影響を与える場合がありますので、REC.709 や SDRで設計されたLUTは、コンテンツを表示する目的のみで使用してください。3D LUTを使用するには、Davinci ResolveやPhotoshopのような色補正アプリケーションや、LUTCalcなどのアプリケーションで独自のLookをつくり、Atomos機器に取り込みます。取り込んだLUTは簡単に呼び出し適用できます。

Atomosは、業界標準の .CUBE フォーマットの3D LUTに対応し、メモリースロットに8つのLUTを登録できます。1D LUTには未対応の為、取り込むにはサードパーティーのソフトウェアでの変換が必要です。

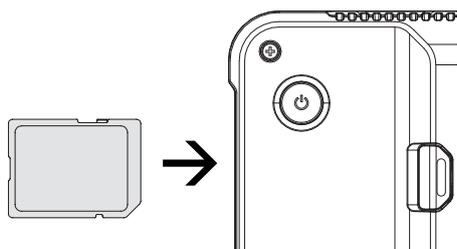
コンピュータから
SDカードにLUTを
取り込み



Shinobiに
LUTを追加

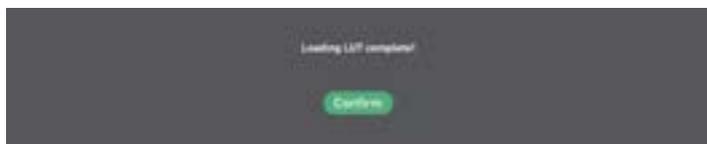


LUTをShinobiに取り込むには、最初に.cubeファイルをSDカード(FAT32またはMS-DOSでフォーマット)にコピーしてください。コピーが完了したら、SDカードをShinobiのSDポートに差し込みます。



SDカードの向きが合っていることをご確認ください。

LUTをロードするには、目的のスロット(Logカーブボタン)を選びタップしたあと、フォルダ型のアイコン(ロード)をタップし、瞬時に現れる画面で「Confirm(確認)」ボタンをタップします。ディスクファイルシステムで、アップデートしたいLUTファイルを選択し、名前をタップして選択後、Shinobiの右側にある「Load LUT(LUTのロード)」ボタンを押します。



設定メニューのLUTs タブでロードしたLUTを適用します:LUTは MonitorタブでLUTオプションを有効にしますと画面に適用できます。MonitorタブでLUTを適用にしますと、LUTsメニューで選択したLUTが常に使用できます。情報バーでLUT名をタップしますと、Monitorメニューに直接アクセスすることができます。LUTsメニュー内で、お好みのスロットにタップしますと、情報バーのMONエリアに選択したLUTの名前が表示されます。

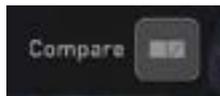
選択した3D LUTの名前は、情報バーのMONエリアに表示されます。

5. Shinobiの使用方法

LUTは、REC.709の色域で機能するように設計されていますので探している色調整ができていないかもしれませんが、映像の輝度に影響を及ぼしているかもしれません。その場合、これらのLUTはREC.709やSDR表示のコンテンツ配信用のみご利用ください。

3D LUTを使用する場合、Davinci Resolve、Photoshop、LUTCalcなどのカラーコレクションアプリケーションを使用して、Atomos機器にインポートするカスタムLUTを作成することができます。

LUTオプション:



Compare (比較)

カラーマネージメント中に、いくつものLOOKを確認したいときに、ネイティブの映像ソースと比較できて大変便利です。Compareオプションをタップすると、オリジナルの映像と選択したLUTを適用した映像が、左右に分かれて表示されます。



半々での比較プレビューはループアウト時にも適用できますが、LUTを適用して収録するときには使用できません。



画面の真ん中をタップすると、すべてのオーバーレイを非表示にできます。もう一度タップすると、コントロールが表示します。



Monitor (モニター)

HDRモニタリングの操作に入る前に、HDRの背景について理解することが大切です。既存のスタンダードダイナミックレンジ(SDR) Rec.709とこれからの映像を表示するハイダイナミックレンジ(HDR)の違いについて、重要な用語に慣れる為にもAtomos HDR ガイドを一読されることをお勧めします。

標準規格の使い方 -ネイティブ / Rec.709 / HLG / PQ

AtomOS 10では、HDR表示をする際、予め登録された設定を使用して映像を表示します。従来のAtom OSのHDRスライダーと似ていますが、可変式のスライド操作に代わり、Rec.709 (SDR)、HLGとPQ (HDR)のレベルに対応したボタンが用意されています。これらのボタンを適用しますと、以下に示すレベルに応じた映像が適用され、HDR用の正しい露出で作業できるように、適切な露出に調整されます。



ネイティブ映像ソース

この機能は一切処理を行わず、そのままの映像を映し出します。Shinobiは予め定められた標準の放送用モニターとして動作します。カメラを接続しますと、カメラから入る標準規格のRec.709やLog映像がそのままモニタリングされます。標準規格 Rec.709の映像は正しく表示されますが、Log映像はフラットに表示されます。



Rec.709

このモードでは、Shinobiがカメラのガンマ/ガモットから、パネルの最高の輝度(1000nits)の100%リニアIREでマッピングします。これを超えた部分はすべて切り取られます。



HLG (ハイブリッド Log ガンマ)

このモードでは、Shinobiがカメラのガンマ/ガモットから、パネルの最高の輝度(1000nits)の1200%リニアIREでマッピングします。ハイライトは若干圧縮されます。



PQ

PQモードを選択しますと、Shinobiがカメラのガンマ/ガモットから、パネルの最高の輝度(1000nits)の2000%リニアIREでマッピングを行います。ハイライトはさらに圧縮されます。HLGと似ているようにみえますが、ハイライト部にも諧調が残っています。

カメラのダイナミックレンジによって、HLGとPQモードがどこまで詳細まで再現するかが決まります。

5. Shinobiの使用方法

HDRとLogについて

HDRにおける第一歩はHDRシーンを見極めることです。LOOKは、映像のハイライトからシャドーにかけてのコントラストの階調が良く、各色の色調が引き出せる情報を持っていること。

次に、収録しているHDR Log情報とShinobiで設定されているLogシグナルが合っていることを確認します。(19ページ参照)



もはや、Log収録を行うとき、色の淡い映像で確認する必要はなくなり、AtomOS 10のイメージプロセッシングで、HDRの仕上がりを映像をプレビューしながら適切な露出撮影が行えます。



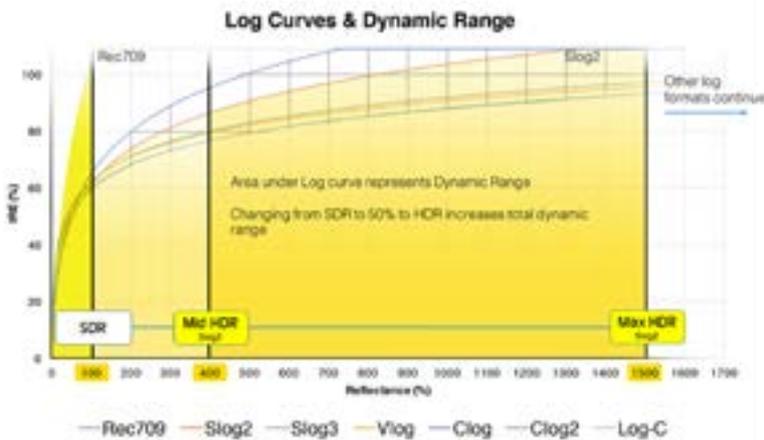
HDRの特長はハイライト部の明るい部分に現れます。今まで“白飛び”していた部分にも情報を取り込むことができるようになります。HDRでは一段と階調が広がり詳細を再現できるようになります。露出を上げてテスト撮影をすることをお勧めします。

AtomOS 10 HDR は各Logカーブごとに画面の明るさとパネル処理を制御し、シーンのハイライトの明るさを増しました。

注意 撮影シーンの光量に加えて、レンズの明るさも重要で、絞り値が小さいほど明るくなります。無段階絞りのシネマレンズを使用すると、電子制御絞りの写真用レンズよりも柔軟に撮影することができます。

AtomOS 10のモニタリングモードは、Logガンマ入力のHDR映像をShinobiの画面に表示することができます。AtomOS 10 のHDRモニタリングは、Atomosの研究開発の成果の結晶で、自然で鮮やかな色再現とハイライト部の階調を残すことを実現し、そのままモニターを見るだけで撮影をすることができます。Shinobiの画面が適切にみえている場合、露出はあっているはずですが、常に波形モニターを併用することを推奨します。

覚えておいて頂きたい重要なことの一つは、カメラがLog撮影に対応している場合、SDRよりも広いダイナミックレンジで撮影する能力があるということです。Logは、対数曲線を使用し、ハイライトの情報を得るためにダイナミックレンジのstop(段)数を増やすことなく圧縮して、Rec.709規格に収めます。SDR表示の範囲を越えた輝度情報を持っており、SDR画面に表示するとき、Rec.709の100%よりも明るい領域は切り捨てられ、彩度が低く、ねむたい映像にみえます。以下に示します:



SDR/HDR調整の他、次の機能も備わっています:



本体の電源を落とすことなく、モニター画面のみ消すことができます。この機能は電源ボタンを押してロック機能を使用したときに作動します。



モニター画面の天地を反転表示します。



スクリーンミラーリング項目を使用しますと、鏡に映る映像のように左右反転することができます。この機能は、自撮りを行うときに大変便利です。



画面が反転して利用するとき、ユニットの通気口がふさがっていないか、通気が良い状態であるかをご確認ください。

5. Shinobiの使用方法

ディスプレイ

このモードを選択しますと、Native(ネイティブ)モード時に、スライドバーで明るさ調整を行うことができます。右にスライドしますと輝度が高くなり、100%のとき画面全体の輝度が1000ニットを使用します。

他社の液晶モニターと同様で、明るくするとその分消費電力が増え、バッテリーを早く消費します。ディスプレイのLift(リフト)、Gamma(ガンマ)、Gain(ゲイン)を調整することができます。メニューの左側にあるアイコンをタップし、スライダーを左右に動かして調節を行います。



Backlight(バックライト):

バックライトの明るさを調節します。HDRモニタリング中は操作することができません。



Lift(リフト):

リフトを増やしますと明るさ増し、シャドウが減ります。



Gamma(ガンマ):

ガンマを操作しますと、シャドウ部分がより濃く、豊かになります。明るい日中にモニタリングする際に便利な機能です。



Gain(ゲイン):

ゲインは、画像の明るさを増し、ハイライトに影響を及ぼします。



リセット:

すべてをデフォルト値に戻します。



8. 技術仕様

質量	
本体のみ	196g
外形寸法 (幅×高さ×奥行き)	151 x 91.5 x 31.5mm
筐体素材	ABS樹脂
マウント用ネジ穴	1/4 インチ スクリューマウント×2(上面×1、下面×1)
電源	
消費電力	4-7W
対応バッテリー	ATOMOS NP-F シリーズ
対応入力電圧	6.2V - 16.8V
バッテリー駆動時間 (7.4V時)	待機時 2600mAh 約3時間、5200mAh 約6時間、7800mAh 約12時間 モニター使用時 2600mAh 約1.5時間、5200mAh 約3時間、7800mAh 約6時間
DC入力	同梱のACアダプターを使用
タッチスクリーン	
スクリーンサイズ	5.2型
画面解像度 / PPI	1920 x 1080 / 427PPI
アスペクト比(ビデオ表示)	16:9
対応色域	REC709 HDTV
LUT対応	3D LUT (.cube 読み込み対応)
アナモフィックスクイーズ対応	2x, 1.5x, 1.33x
LCD/タッチパネル	S-IPS液晶(キャリブレーション対応)/静電容量式
HDR	
AtomHDRモード	対応
HDR モニタリング (Gamma)	Sony SLog / SLog2 / SLog3, Canon CLog / CLog2 / CLog3, Arri Log CEI160 / LogCEI200 / LogCEI250 / LogCEI320 / LogCEI400 / LogCEI500 / LogCEI640 / LogCEI800 / LogCEI1000 / LogCEI1280 / LogCEI1600, Panasonic Vlog, JVC JLog1, RED Log3G10 / RED LogFilm, FujiFilm F-log, PQ10k, HLG, Nikon N-Log
HDR モニタリング (Gamut)	Sony SGamut / SGamut3 / SGamut3.cine Canon Cinema / DCI P3 / DCI P3+ Panasonic V Gamut Arri Alexa Wide Gamut Rec709 / BT.2020 JVC RED WideGamut / RED DragonColor / DragonColor2 / RED Color2 / RED Color3 / RED Color4
LCD駆動ビット深度	10-bit (8+2 FRC)
最大輝度	1000 nit (+/- 10%)
画面ミラー/反転	上下反転、水平反転(自撮りモード) 縦/横向き反転(将来ファームウェアのアップデートで対応予定)
HDR入力 (PQ/HLG)	対応
ビデオ入力端子	
HDMI	1 x HDMI (1.4)(タイプA)
対応ビデオ入力信号	非圧縮 10/8bit 4:2:2

ビデオ入力対応フォーマット	
4K 4096 x 2160	23.98p, 24p, 25p, 29.97p
UHD 3840 x 2160	23.98p, 24p, 25p, 29.97p
HD 1920 x 1080	23.98p, 24p, 25p, 29.97p, 50p, 59.94p
HD 1280 x 720	50p, 59.94p
オーディオ入出力	
HDMI	2ch 48kHz 24bit(カメラに依存します)
ヘッドホン出力	3.5mm
SDカードスロット	
フルサイズSDカードスロット	LUTの読み込みやファームウェアのアップデートに使用します
周辺機器	
同梱アクセサリ	SHINOBI本体, ACアダプター
オプション	Power Kit, AtomX 5" Cage for Shinobi SDI AtomX 5" Sunhood AtomX 5" Screen Protector AtomX 10" Arm & Quick Release Plate その他: Atomos HDMI cables X-Rite i1 DisplayPro calibrator and USB to Serial cable AtomX 5" Accessory kit
メーカー保証	1年間

HDMI接続には相性があり、全てのデバイスとの接続を保証するものではありません。
製品の仕様、外観、付属品については、予告なく変更することがあります。

Warranty & Conditions

International Hardware Limited Warranty

ATOMOS warrants that:

- The main product, not including the IPS screen, or any external accessories, will be free from defects in materials and workmanship for a period of 1 year from the date of purchase.
- The TFT/LCD, HDD/SSD Docking Station, Master Caddy II and Cable will be free from defects in materials and workmanship for a period of 1 year from the date of purchase.

This warranty is exclusively for the benefit of the original purchaser and is not assignable or transferable.

If during the warranty period the product is shown to be defective ATOMOS may at its option:

- a) replace the goods or supply equivalent ones,
- b) repair the goods,
- c) pay the cost of replacing the goods or of acquiring equivalent ones and
- d) paying the cost of having the goods repaired;

The customer must notify ATOMOS of any defect in the goods in writing prior to the expiry of the warranty periods set out above. The customer will be solely responsible for returning the goods to ATOMOS or its authorized distributor. Upon acceptance of a warranty claim by ATOMOS, where ATOMOS repairs or replaces the goods, it will be responsible for reasonable shipping costs incurred in sending the goods to the Customer, provided that customer is located in a country in which ATOMOS has an authorized distributor or repair center or agent.

Warranty Exclusions

This warranty applies only to defects in workmanship and does not cover defects caused by:

- Neglect;
- Improper or negligent acts or omissions;
- Repairs or attempted repairs;
- Tampering with or modification of the goods;
- Connection to incompatible equipment or power sources;
- Exposure to water or weather;
- Exposure to magnetic fields or corrosive liquids or substances;
- Physical damage

Except as stated in this warranty, Atomos, its vendors, agents, resellers and distributors disclaim in their entirety all other warranties, express or implied, including without limitation all warranties of merchantability or fitness for a particular purpose. The remedies outlined in this warranty are the exclusive remedy a customer from defective goods, which are subject to the warranty.

Atomos does not warrant that the goods will operate in a manner that is error free, or uninterrupted.

Software License Agreement

IMPORTANT, PLEASE READ CAREFULLY. THIS IS A LICENSE AGREEMENT.

This ATOMOS software, related documentation, any included sample images files (the "Software"), is protected by copyright laws and international copyright treaties, as well as other intellectual property laws and treaties. The Software is licensed, not sold.

This End User License Agreement ("EULA") is a legal agreement between you (either an individual or a single entity) and ATOMOS with regard to the copyrighted Software provided with this EULA. Use of the Software provided to you by ATOMOS in whatever form or media, will constitute your acceptance of these terms, unless separate terms are provided by the software supplier, in which case certain additional or different terms may apply. If you do not agree with the terms of this EULA, do not download, install copy or use the Software. By installing, copying or otherwise using the Software, you agree to be bound to the terms of this

EULA. If you do not agree to the terms of this EULA, ATOMOS is unwilling to license the Software to you.

1. Eligible licensees. This Software is available for license solely to purchasers of the ATOMOS Shinobi, who have purchased a unit manufactured by ATOMOS Shinobi and purchased through an ATOMOS authorized reseller, with no right of duplication or further distribution, licensing or sub-licensing.
2. License Grant. ATOMOS grants you a personal, non-transferable and non-exclusive right to use the copy of the Software provided with this EULA. You agree you will not copy the Software except as necessary to use it with the ATOMOS Shinobi. You agree that you may not copy the written materials accompanying the Software. Modifying, reverse engineering, translating, renting, copying, transferring or assigning all or part of the Software or any rights granted hereunder, to any other persons or reverse engineering the hardware on which the Software runs, is strictly prohibited. The software is license, not sold. You acknowledge that no title to intellectual property in the Software is transferable to you. You further acknowledge that title and full ownership rights to the Software will remain the exclusive property of ATOMOS and/or its suppliers, and you will not acquire any rights to the Software, except as expressly set forth above. All copies of the software will contain the same proprietary notices as contained in or on the Software. All title and copyrights in and to the Software (including but not limited to any images, animations, video, audio, text incorporated), the accompanying printed materials, and any copies of the Software are owned by ATOMOS or its suppliers.
3. Reverse engineering. You agree that you will not attempt, and if you are a corporation, you will use your best efforts to prevent your employees and contractors from attempting to reverse compile, derive circuits, modify, translate or disassemble the Software and/or the Atomos Shinobi in whole or in part. Any failure to comply with the above or any other terms and conditions contained herein will result in the automatic termination of this license and the reversion of the rights granted hereunder by ATOMOS.

ATOMOS reserves the right to terminate this license without prejudice to any additional recourse ATOMOS may have against you if you violate any of its terms and conditions.

Notice

Copyright © 2018 ATOMOS Global Pty Ltd ('referred to as ATOMOS'). All rights reserved. All information in this document is subject to change without notice. No part of the document may be reproduced or transmitted in any form, or by any means, electronic or mechanical, including photocopying or recording, without the express written permission of ATOMOS. A reference to ATOMOS includes its related entities, subsidiaries and parent company.

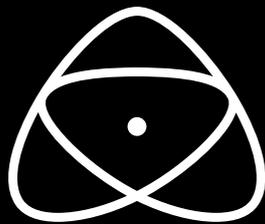
Trademarks

Shinobi and ATOMOS are registered trademarks of ATOMOS. Apple, the Apple logo, AppleShare, Mac, and Macintosh are registered trademarks of Apple Inc. Final Cut Pro, QuickTime and the QuickTime Logo are trademarks of Apple Inc. DNxHD, DNxHR and Avid logo are registered trademarks of Avid Technology, Inc. All other trademarks are the property of their respective holders.

REGISTRATION + WARRANTY

Visit: www.atomos.com/register

Registered users receive updates of all AtomOS updates upon release.



atomos-japan



/AtomosGlobal



@atomos_japan



@Atomos_News



/AtomosVideo



/atomosvideo